

本年度の結果

	理科
阿蘇市	63
全国	63.3

領域別	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
阿蘇市	54.9	59.4	73.9	62.9
全国	51.6	60.4	75	64.6

観点別	知識・技能	思考・判断・表現
阿蘇市	64.2	62.4
全国	62.5	63.7

本年度の主な結果について

- 領域別では、「エネルギーを柱とする領域」、観点別では「知識・技能」が全国を上回っている。
- 自然の事物・現象から得た情報を他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。
- 観察や実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもちることができる。(1(1))
- 昆虫の体のつくりを理解している。(1(3))
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもちることができる。(4(1))

【課題】

物質

- メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている。(2(2))

エネルギー

- 日光は直進することを理解している。(3(1))
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(3(4))

生命

- 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(1(2))
- 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもちることができる。(1(5))

地球

- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもちることができる。(4(3))
- 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。(4(4))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「理科の勉強は好き」「理科の授業の内容はよく分かる」とも、全国を上回っている。
- 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画は立っていますか」は、全国を上回っている。

【課題】

- 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」は全国よりも高いが、改善が必要である。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 单元デザインや授業デザインを基に、育成を目指す資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返るとともに、指導と評価の一体を図る。
- 観察・実験などで得られた結果を基に分析して考察し、その内容を記述する際には、何を結論の根拠としているのかを明らかにし、事実と解釈を表現し、より妥当な考えを作り出す学習活動を重視する。
- 「比較」「関係付け」「条件制御」「多面的に考える」など理科の見方・考え方を働かせながら問題解決の過程を通して学ぶことにより、理科で育成を目指す資質・能力を獲得する授業改善を目指す。

【日常的な取組】

- 学習課題とまとめの板書、予想、観察・実験、結果、考察などの表現する活動を行う。その際、電子黒板、タブレット端末等のICTの活用を通して動画や写真などを有効に活用する。

【家庭学習等】

- 日常生活でも自然の事物や現象に関わらせるなど理科に関する興味関心を持たせる。